

(17) 市民の環境活動について

① 市民の、環境に配慮した生活行動の有無

問 2 1

北九州市では、「世界の環境首都」を都市のブランドの一つに掲げ、脱炭素社会実現をリードする取組を市民、NPO、企業などと一体となって進めています。

そこで、おたずねします。

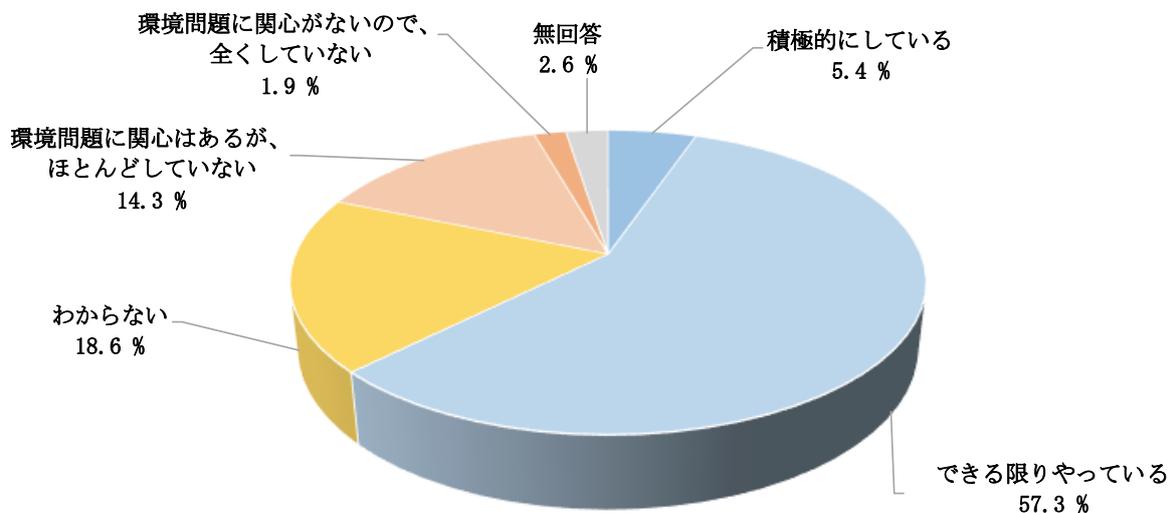
あなたは、日ごろから環境に配慮した行動をしていると思いますか。

N : 1,288 人

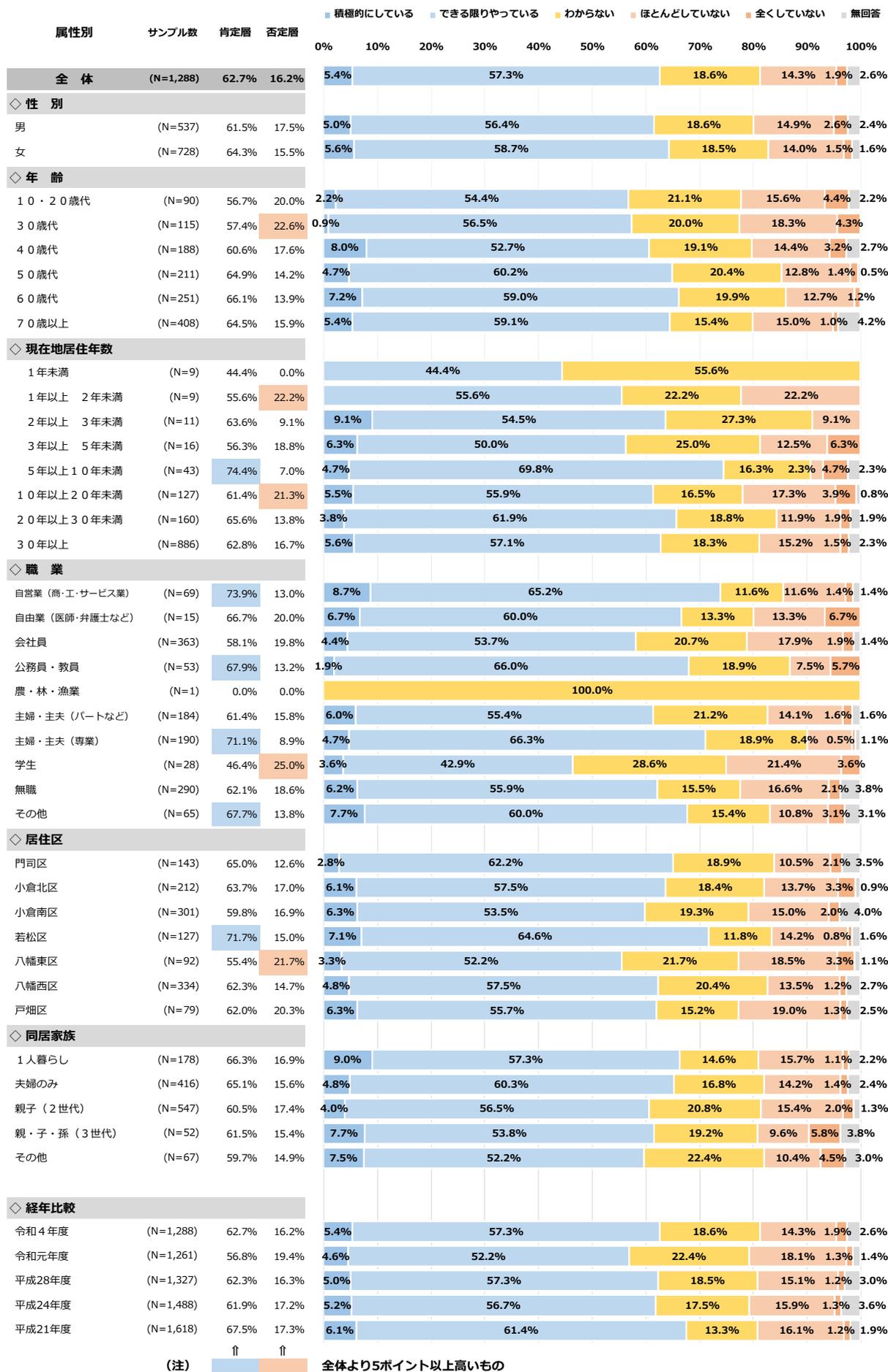
項目	回答数	割合
1 積極的にしている	69	5.4 %
2 できる限りやっている	738	57.3 %
3 わからない	239	18.6 %
4 環境問題に関心はあるが、ほとんどしていない	184	14.3 %
5 環境問題に関心がないので、全くしていない	25	1.9 %
無回答	33	2.6 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 ======> 62.7 %
 「積極的にしている」 + 「できる限りやっている」 (5.4 %) + (57.3 %)
- ・ 否定層 ======> 16.2 %
 「環境問題に関心はあるが、ほとんどしていない」 + 「環境問題に関心がないので、全くしていない」 (14.3 %) + (1.9 %)



① 市民の、環境に配慮した生活行動の有無



市民の、環境に配慮した生活行動の有無

【全体的傾向】

肯定層 (62.7 %)		否定層 (16.2 %)	
「積極的にしている」	(5.4 %)	「ほとんどしていない」	(14.3 %)
「できる限りやっている」	(57.3 %)	「全くしていない」	(1.9 %)

肯定層が否定層を46.4ポイント上回っている

【属性別にみた傾向】

※ サンプル数が少ない属性の回答については、コメントでは触れないこととする。

◇ 性別にみると、

肯定層	：	男性(61.5 %)	女性(64.3 %)
否定層	：	男性(17.5 %)	女性(15.5 %)

◇ 年齢別にみると、

- ・ 全体肯定層(62.7 %)：60歳代(66.1 %) ⇔ 10・20歳代(56.7 %)
- ・ 全体否定層(16.2 %)から5ポイント以上高い：30歳代(22.6 %)

◇ 現在地居住年数別でみると、

- ・ 全体肯定層(62.7 %)から5ポイント以上高い：10年未満(74.4 %)
- ・ 全体否定層(16.2 %)から5ポイント以上高い：20年未満(21.3 %)

◇ 職業別にみると、

- ・ 全体肯定層(62.7 %)から5ポイント以上高い：自営業(商・工・サービス業)(73.9 %)
主婦・主夫(専業)(71.1 %)
公務員・教員(67.9 %)
その他(67.7 %)
- ・ 全体否定層(16.2 %)から5ポイント以上高い：学生(25.0 %)

◇ 居住区別にみると、

- ・ 全体肯定層(62.7 %)から5ポイント以上高い：若松区(71.7 %)
- ・ 全体否定層(16.2 %)から5ポイント以上高い：八幡東区(21.7 %)

◇ 同居家族別にみると、

- ・ 全体肯定層(62.7 %)：1人暮らし(66.3 %) ⇔ その他(59.7 %)
- ・ 全体否定層(16.2 %)：親子(2世代)(17.4 %) ⇔ その他(14.9 %)

【経年比較】

経年比較	平成21年度	平成24年度	平成28年度	令和元年度	令和4年度
肯定層	67.5%	61.9%	62.3%	56.8%	62.7%
否定層	17.3%	17.2%	16.3%	19.4%	16.2%

・ 毎年度、肯定層が大きく否定層を上回り、増減変化は少ない推移となっている。

② 市や市民が取り組む環境への配慮行動への満足感

問 2 2

あなたは、市民の環境に配慮した取組みは自慢できるものだと感じますか。

N : 1,288 人

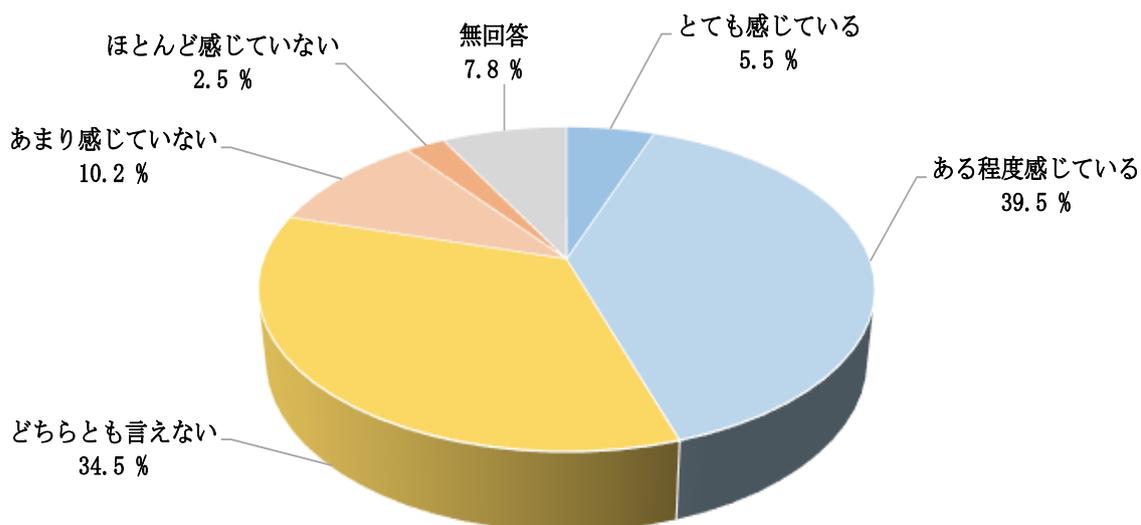
項目	回答数	割合
1 とても感じている	71	5.5 %
2 ある程度感じている	509	39.5 %
3 どちらとも言えない	444	34.5 %
4 あまり感じていない	131	10.2 %
5 ほとんど感じていない	32	2.5 %
無回答	101	7.8 %

◇ 市民の満足感は、

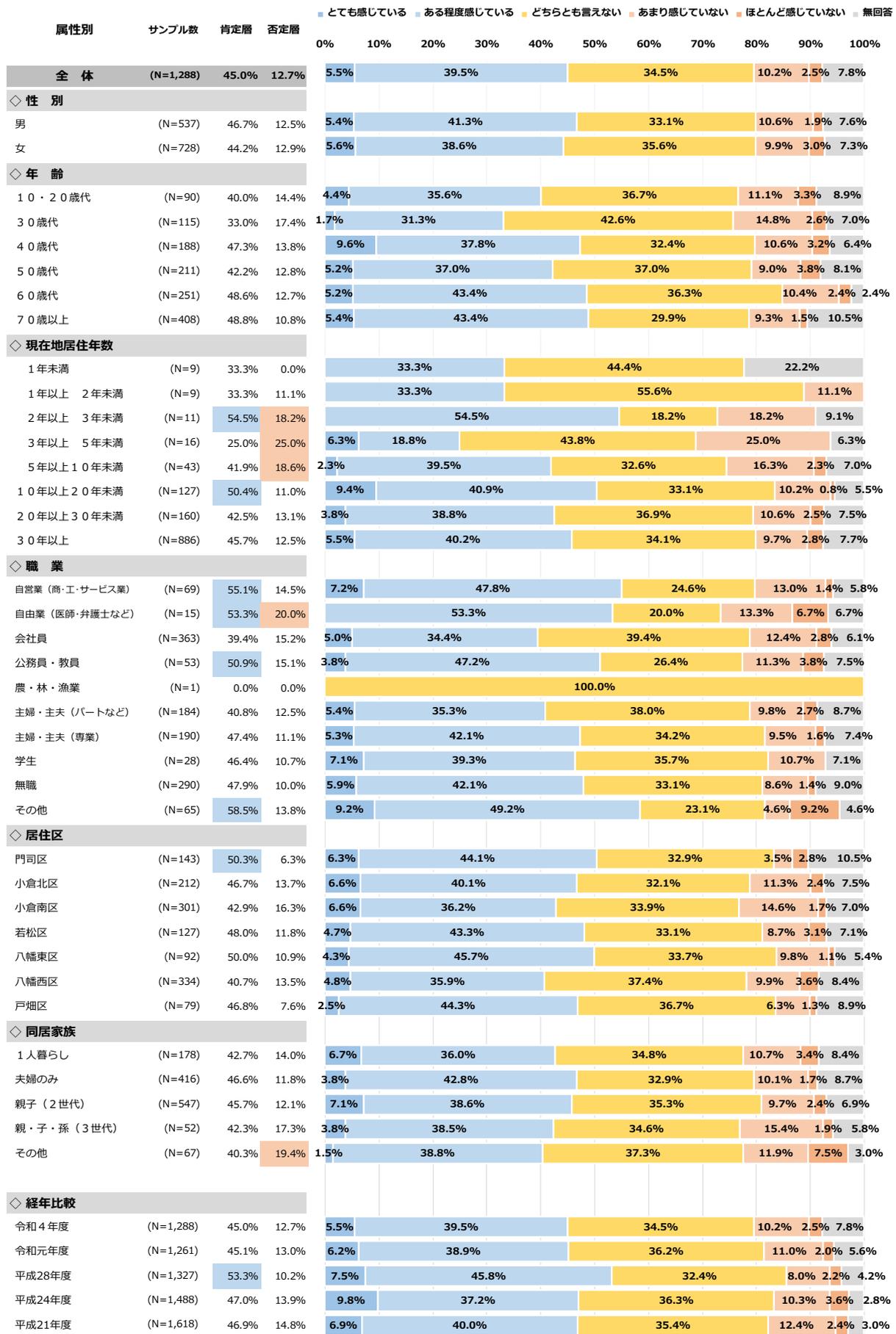
- ・ 肯定層 ======> 45.0 %

「とても感じている」 + 「ある程度感じている」 (5.5 %) + (39.5 %)
- ・ 否定層 ======> 12.7 %

「あまり感じていない」 + 「ほとんど感じていない」 (10.2 %) + (2.5 %)



② 市や市民が取り組む環境への配慮行動への満足感



(注) ↑ ↑ 全体より5ポイント以上高いもの

市や市民が取り組む環境への配慮行動への満足感

【全体的傾向】

肯定層 (45.0 %)		否定層 (12.7 %)	
「とても感じている」 (5.5 %)		「あまり感じていない」 (10.2 %)	
「ある程度感じている」 (39.5 %)		「ほとんど感じていない」 (2.5 %)	

肯定層が否定層を32.4ポイント上回っている

【属性別にみた傾向】

※ サンプル数が少ない属性の回答については、コメントでは触れないこととする。

◇ 性別にみると、

肯定層	：	男性(46.7 %)	女性(44.2 %)
否定層	：	男性(12.5 %)	女性(12.9 %)

◇ 年齢別にみると、

- ・ 全体肯定層(45.0 %)：70歳以上(48.8 %) ⇔ 30歳代(33.0 %)
- ・ 全体否定層(12.7 %)：30歳未満(17.4 %) ⇔ 70歳以上(10.8 %)

◇ 現在地居住年数別でみると、

- ・ 全体肯定層(45.0 %)から5ポイント以上高い：20年未満(50.4 %)
- ・ 全体否定層(12.7 %)から5ポイント以上高い：5年未満(25.0 %)、10年未満(18.6 %)

◇ 職業別にみると、

- ・ 全体肯定層(45.0 %)から5ポイント以上高い：その他(58.5 %)
 自営業(商・工・サービス業)(55.1 %)
 自由業(医師・弁護士など)(53.3 %)
 公務員・教員(50.9 %)
- ・ 全体否定層(12.7 %)から5ポイント以上高い：自由業(医師・弁護士など)(20.0 %)

◇ 居住区別にみると、

- ・ 全体肯定層(45.0 %)から5ポイント以上高い：門司区(50.3 %)
- ・ 全体否定層(12.7 %)：小倉南区(16.3 %) ⇔ 門司区(6.3 %)

◇ 同居家族別にみると、

- ・ 全体肯定層(45.0 %)：夫婦のみ(46.6 %) ⇔ その他(40.3 %)
- ・ 全体否定層(12.7 %)から5ポイント以上高い：その他(19.4 %)

【経年比較】

経年比較	平成21年度	平成24年度	平成28年度	令和元年度	令和4年度
肯定層	46.9%	47.0%	53.3%	45.1%	45.0%
否定層	14.8%	13.9%	10.2%	13.0%	12.7%

- ・ 毎年度、肯定層が否定層を上回り、増減変化は少ない推移となっている。

(18) 自然環境について

① 身近に自然を感じ、自然に触れる環境への満足感

問 2 3

北九州市は、大都市でありながら山や海など、多様な自然環境に恵まれており、市ではその適正な保全に努めるとともに市民が自然とふれ合うことができる場を整備しています。

そこで、おたずねします。

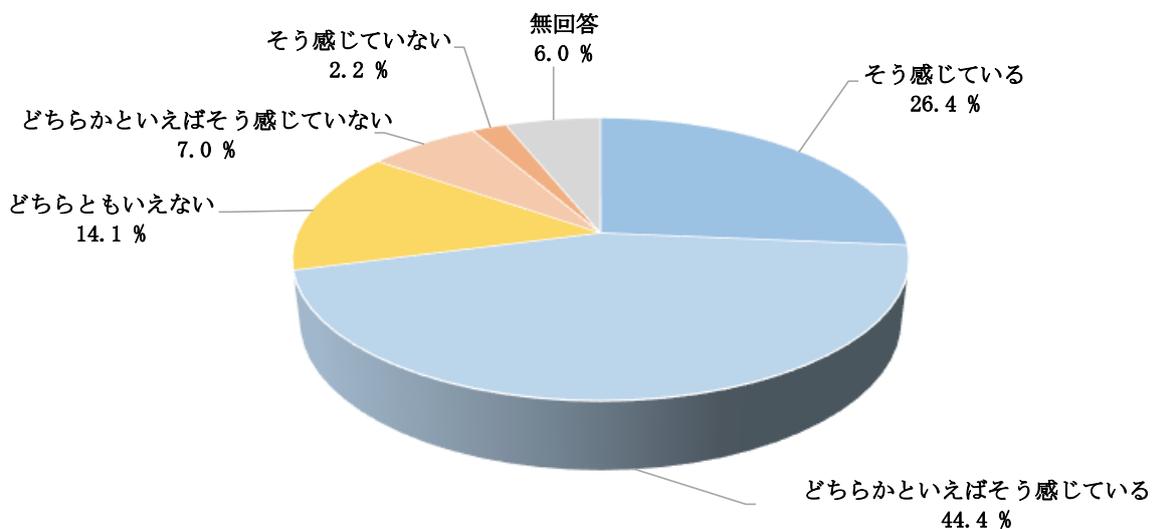
あなたは、北九州市は、身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れたりできるまちだと感じますか。

N : 1,288 人

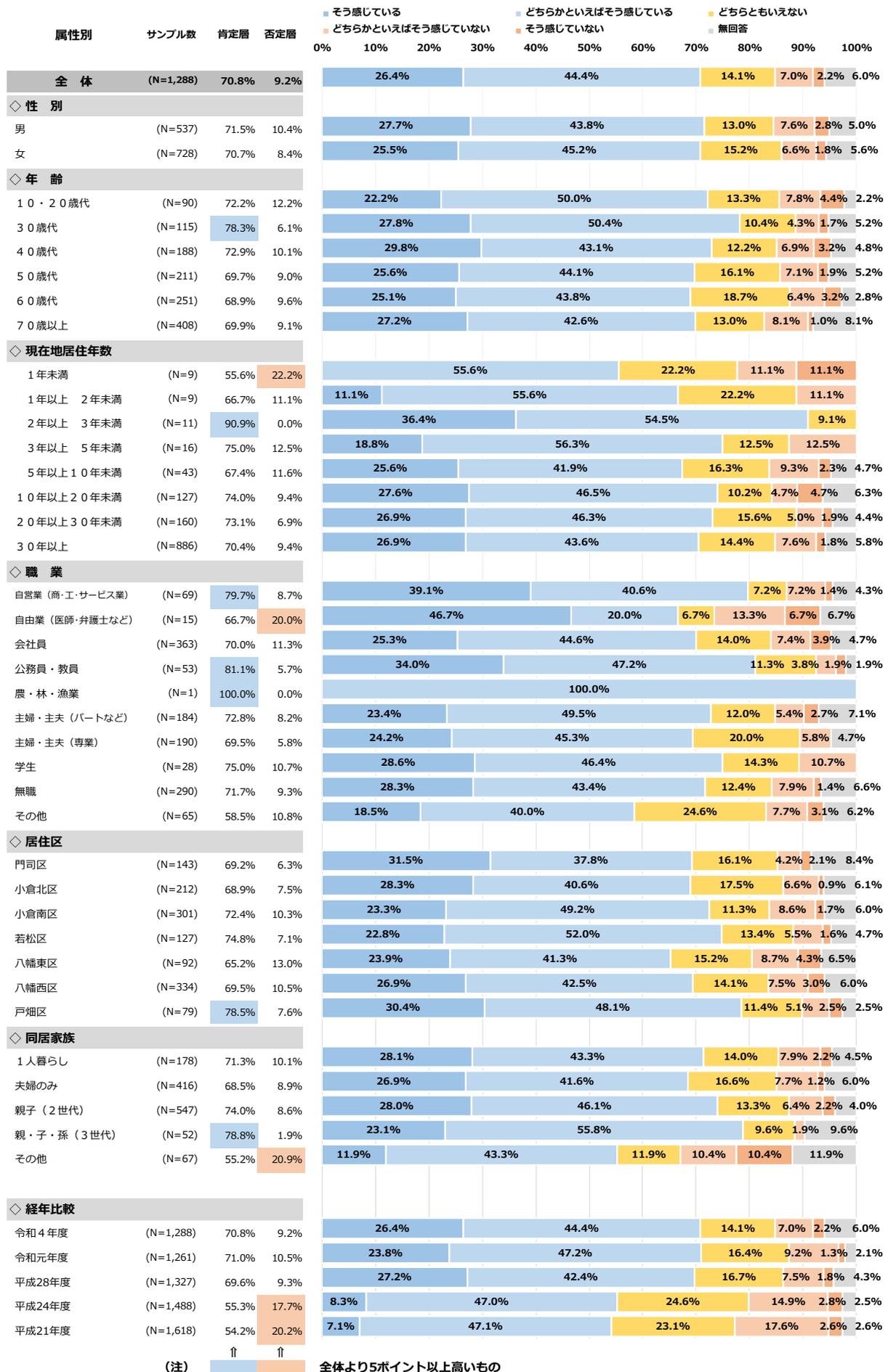
項目	回答数	割合
1 そう感じている	340	26.4 %
2 どちらかといえばそう感じている	572	44.4 %
3 どちらともいえない	181	14.1 %
4 どちらかといえばそう感じていない	90	7.0 %
5 そう感じていない	28	2.2 %
無回答	77	6.0 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 ======> 70.8 %
「そう感じている」 + 「どちらかといえばそう感じている」 (26.4 %) + (44.4 %)
- ・ 否定層 ======> 9.2 %
「どちらかといえばそう感じていない」 + 「そう感じていない」 (7.0 %) + (2.2 %)



① 身近に自然を感じ、自然に触れる環境への満足感



② 身近に自然を感じ、自然に触れる環境と感じられない理由

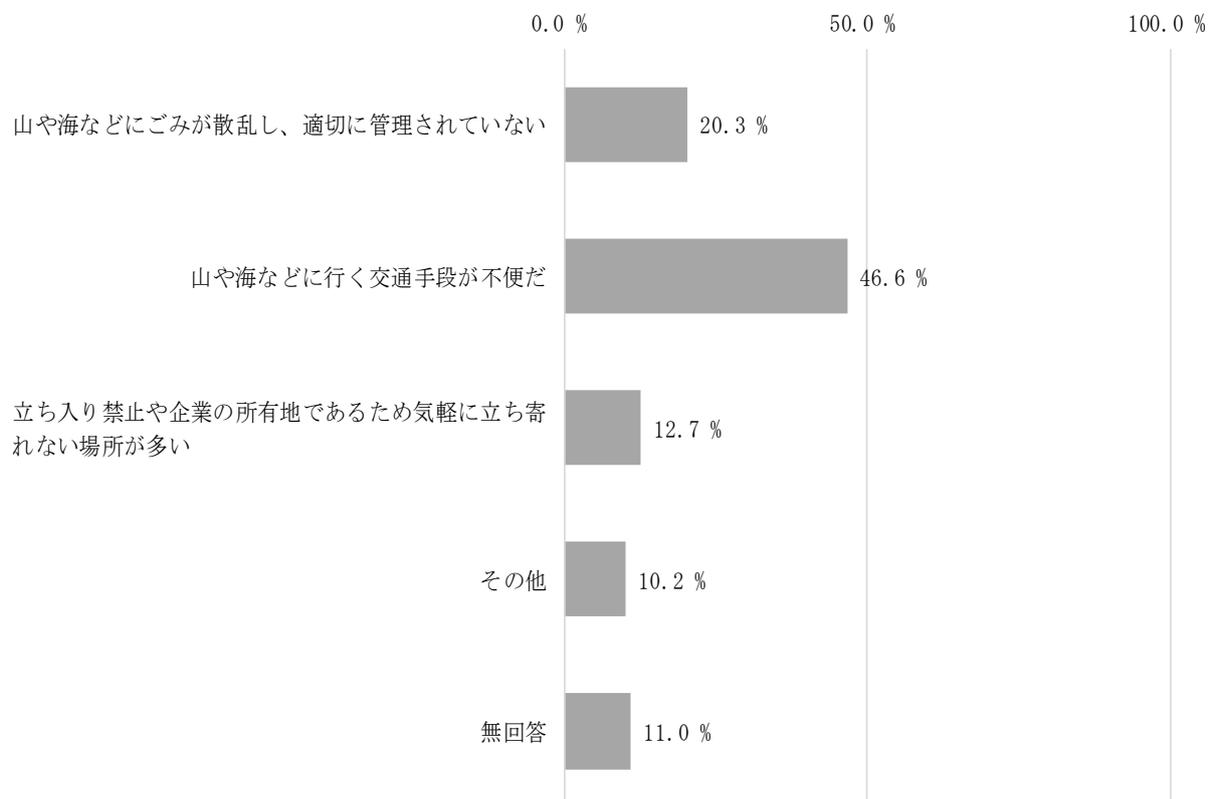
副問 2 3 - 1
 (4 もしくは 5 と選んだ) 理由について、下記から 1 つ選んでください。

N : 118 人

項 目	回答数	割合
1 山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない	24	20.3 %
2 山や海などに行く交通手段が不便だ	55	46.6 %
3 立ち入り禁止や企業の所有地であるため気軽に立ち寄れない場所が多い	15	12.7 %
4 その他	12	10.2 %
無回答	13	11.0 %

◇ 感じられない主な理由は、

1位	山や海などに行く交通手段が不便だ	(46.6 %)
2位	山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない	(20.3 %)
3位	立ち入り禁止や企業の所有地であるため気軽に立ち寄れない場所が多い	(12.7 %)



② 身近に自然を感じ、自然に触れる環境と感じられない理由

令和4年度 市制満足度調査		サ ン プ ル 数	管 理 さ れ て い な い	山 や 海 な ど に い ま み が 散 乱 し 、 適 切 に	山 や 海 な ど に 行 く 交 通 手 段 が 不 便 だ	た め 気 軽 に 立 ち 寄 れ な い	立 ち 入 り 禁 止 や 企 業 の 所 有 地 が 多 い	そ の 他	無 回 答
全 体		118	20.3%	46.6%	12.7%	10.2%	11.0%		
性 別	男	56	25.0%	41.1%	16.1%	8.9%	10.7%		
	女	61	16.4%	52.5%	9.8%	11.5%	9.8%		
年 齢	10・20歳代	11	27.3%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%		
	30歳代	7	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%		
	40歳代	19	31.6%	31.6%	5.3%	21.1%	10.5%		
	50歳代	19	15.8%	52.6%	26.3%	5.3%	5.3%		
	60歳代	24	20.8%	50.0%	16.7%	4.2%	8.3%		
	70歳以上	37	10.8%	56.8%	5.4%	10.8%	16.2%		
現 在 地 居 住 年 数	1年未満	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
	1年以上 2年未満	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	2年以上 3年未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	3年以上 5年未満	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	5年以上 10年未満	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10年以上 20年未満	12	25.0%	33.3%	16.7%	16.7%	8.3%		
	20年以上 30年未満	11	18.2%	36.4%	27.3%	9.1%	9.1%		
30年以上	83	18.1%	50.6%	12.0%	8.4%	12.0%			
職 業	自営業（商・工・サービス業）	6	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%		
	自由業（医師・弁護士など）	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	会社員	41	36.6%	36.6%	17.1%	7.3%	4.9%		
	公務員・教員	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	農・林・漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	主婦・主夫（パートなど）	15	13.3%	53.3%	13.3%	6.7%	13.3%		
	主婦・主夫（専業）	11	9.1%	63.6%	9.1%	0.0%	18.2%		
	学生	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%		
	無職	27	11.1%	63.0%	3.7%	14.8%	11.1%		
	その他	7	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%		
居 住 区	門司区	9	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%		
	小倉北区	16	6.3%	75.0%	12.5%	6.3%	0.0%		
	小倉南区	31	25.8%	38.7%	16.1%	12.9%	12.9%		
	若松区	9	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%	22.2%		
	八幡東区	12	8.3%	58.3%	16.7%	0.0%	16.7%		
	八幡西区	35	25.7%	40.0%	5.7%	17.1%	11.4%		
	戸畑区	6	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%		
同 居 家 族	1人暮らし	18	0.0%	66.7%	5.6%	11.1%	16.7%		
	夫婦のみ	37	21.6%	56.8%	10.8%	5.4%	10.8%		
	親子（2世代）	47	27.7%	34.0%	14.9%	14.9%	6.4%		
	親・子・孫（3世代）	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	その他	14	14.3%	42.9%	21.4%	7.1%	14.3%		

(注) 全体より5ポイント以上高いもの（その他、無回答は除く）

てつかず身近に自然を感じ、自然に触れる環境への満足感

【全体的傾向】

肯定層 (70.8%)		否定層 (9.2%)	
「そう感じている」 (26.4%)		「どちらかといえば そう感じていない」 (7.0%)	
「どちらかといえば そう感じている」 (44.4%)		「そう感じていない」 (2.2%)	
肯定層が否定層を61.6ポイント上回っている			

【属性別にみた傾向】

※ サンプル数が少ない属性の回答については、コメントでは触れないこととする。

◇ 性別にみると、

肯定層	：	男性(71.5%)	女性(70.7%)
否定層	：	男性(10.4%)	女性(8.4%)

◇ 年齢別にみると、

- ・全体肯定層(70.8%)：30歳代(78.3%)
- ・全体否定層(9.2%)：10・20歳代(12.2%) ⇔ 30歳代(6.1%)

◇ 現在地居住年数別でみると、

- ・全体肯定層(70.8%)：5年未満(75.0%) ⇔ 10年未満(67.4%)
- ・全体否定層(9.2%)：5年未満(12.5%) ⇔ 20年未満(9.4%)、30年以上(9.4%)

◇ 職業別にみると、

- ・全体肯定層(70.8%)から5ポイント以上高い：公務員・教員(81.1%)
自営業(商・工・サービス業)(79.7%)
- ・全体否定層(9.2%)から5ポイント以上高い：自由業(医師・弁護士など)(20.0%)

◇ 居住区別にみると、

- ・全体肯定層(70.8%)から5ポイント以上高い：戸畑区(78.5%)
- ・全体否定層(9.2%)：八幡東区(13.0%) ⇔ 門司区(6.3%)

◇ 同居家族別にみると、

- ・全体肯定層(70.8%)から5ポイント以上高い：親・子・孫(3世代)(78.8%)
- ・全体否定層(9.2%)から5ポイント以上高い：その他(20.9%)

【経年比較】

経年比較	平成21年度	平成24年度	平成28年度	令和元年度	令和4年度
肯定層	54.2%	55.3%	69.6%	71.0%	70.8%
否定層	20.2%	17.7%	9.3%	10.5%	9.2%

- ・毎年度、肯定層が増加傾向、否定層減少傾向で、否定層を大幅に上回る。

身近に自然を感じ、自然に触れる環境と感じられない理由

- ・全体否定層(9.2 %)

【全体的傾向】

- 1位 「山や海などに行く交通手段が不便だ」(46.6 %)
- 2位 「山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない」(20.3 %)
- 3位 「立ち入り禁止や企業の所有地であるため気軽に立ち寄れない場所が多い」(12.7 %)

【属性別にみた傾向】(全体的傾向より5ポイント以上高い)

※ サンプル数が少ない属性の回答については、コメントでは触れないこととする。

- ◆ 「山や海などに行く交通手段が不便だ」(46.6 %)
 - ◇ 性別にみると、女性(52.5 %)が高い。
 - ◇ 年齢別にみると、70歳以上(56.8 %)、50歳代(52.6 %)が高い。
 - ◇ 職業別にみると、無職(63.0 %)、主婦・主夫(パートなど)(53.3 %)が高い。
 - ◇ 居住区別にみると、小倉北区(75.0 %)、八幡東区(58.3 %)、若松区(55.6 %)が高い。
 - ◇ 同居家族別にみると、1人暮らし(66.7 %)、夫婦のみ(56.8 %)が高い。
- ◆ 「山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない」(20.3 %)
 - ◇ 年齢別にみると、40歳代(31.6 %)が高い。
 - ◇ 職業別にみると、会社員(36.6 %)が高い。
 - ◇ 居住区別にみると、小倉南区(25.8 %)、八幡西区(25.7 %)が高い。
 - ◇ 同居家族別にみると、親子(2世代)(27.7 %)が高い。
- ◆ 「立ち入り禁止や企業の所有地であるため気軽に立ち寄れない場所が多い」(12.7 %)
 - ◇ 年齢別にみると、50歳代(26.3 %)が高い。
 - ◇ 現在地居住年数別でみると、30年未満(27.3 %)が高い。
 - ◇ 同居家族別にみると、その他(21.4 %)が高い。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・交通機関が無く、駐車場の整備が不十分。
- ・企業の所有地、立ち入り禁止等である。
- ・整備されず、自然が手つかずのまま残っているのでは。

(19) 生活満足度について

① 生活全般についての満足感

問 2 4

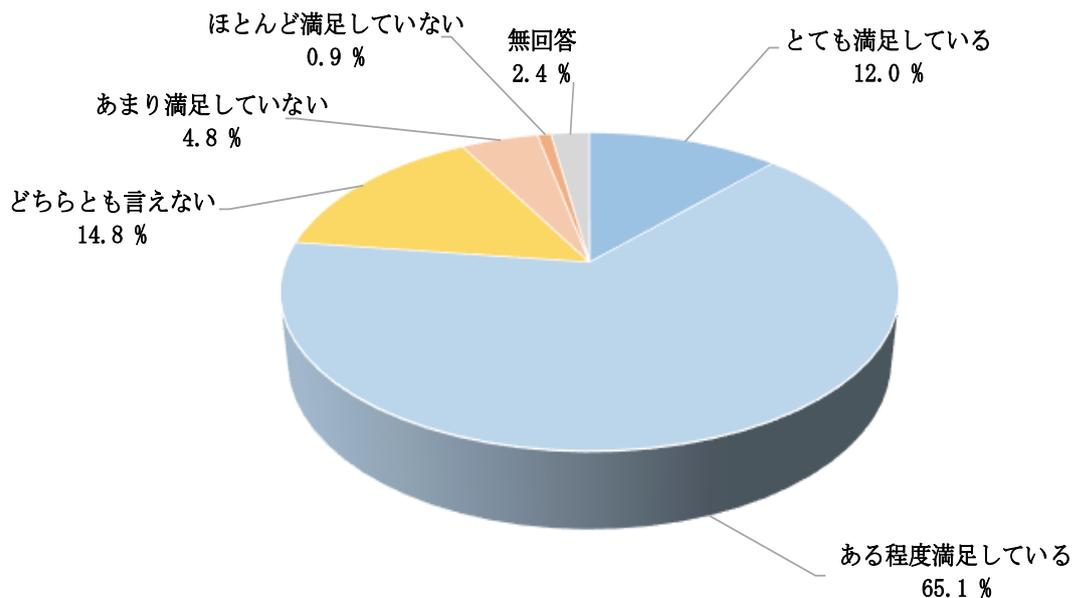
あなたは、北九州市での生活全般について満足していますか。

N : 1,288 人

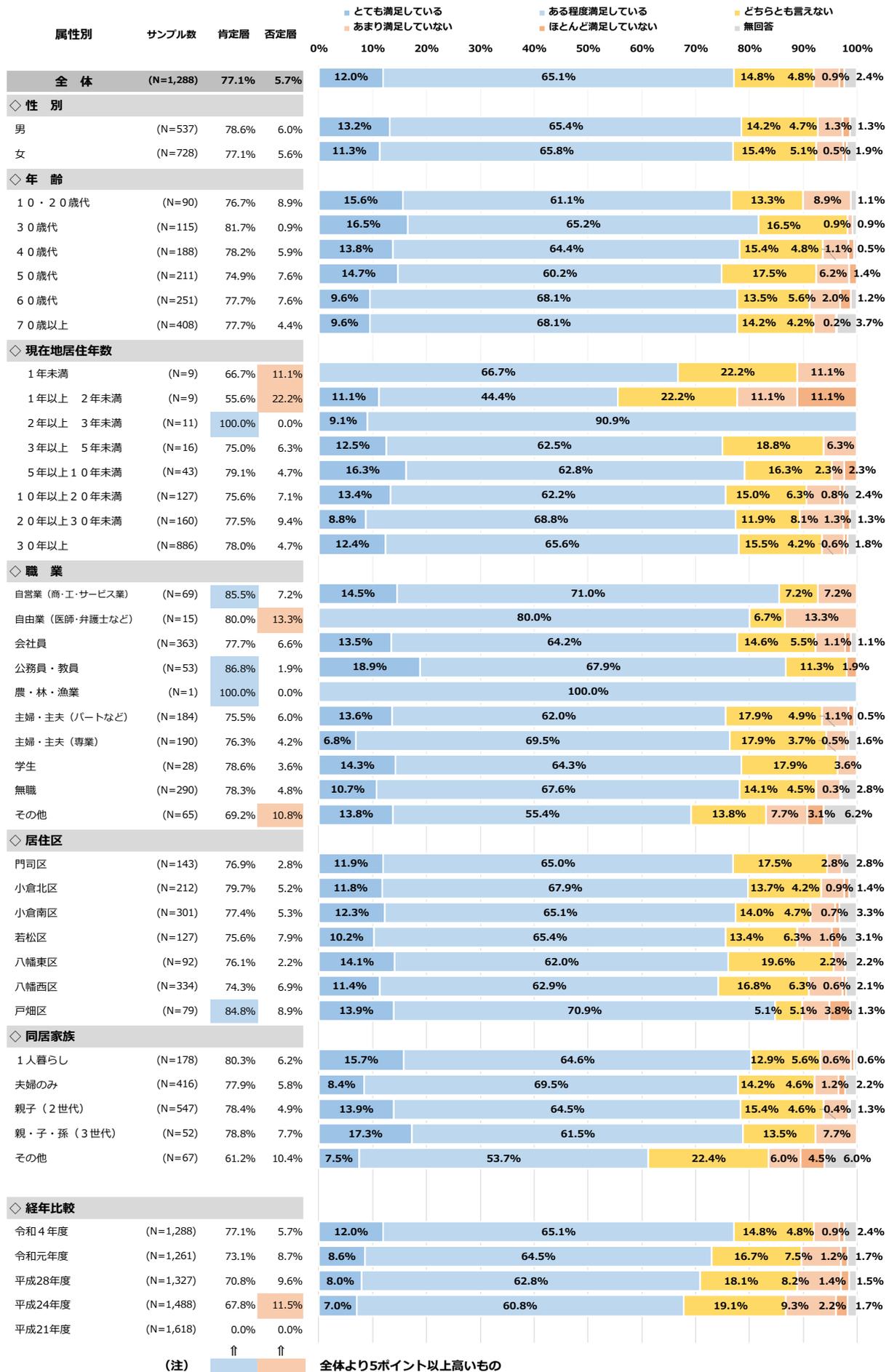
項目	回答数	割合
1 とても満足している	154	12.0 %
2 ある程度満足している	839	65.1 %
3 どちらとも言えない	191	14.8 %
4 あまり満足していない	62	4.8 %
5 ほとんど満足していない	11	0.9 %
無回答	31	2.4 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 ======> 77.1 %
 「とても感じている」 + 「ある程度感じている」 (12.0 %) + (65.1 %)
- ・ 否定層 ======> 5.7 %
 「あまり感じている」 + 「ほとんど感じている」 (4.8 %) + (0.9 %)



① 生活全般についての満足感



② 生活全般について自由意見

問 2 5

(問 2 4 の回答について) ご意見がありましたらお書きください。

※ ご意見については、コメントでは触れないこととする。

◇ 問 2 4 の回答での肯定層(77.1 %)の主な自由意見

- ・交通の便が良く、都市のわりに物価も安く、食べ物は美味しくて新鮮。
- ・交通網・商業施設・医療体制が整っており、非常に生活しやすいです。
- ・自然とまちのバランスが良い。
- ・高齢者の割合が多い。
- ・市営バスの利便性が落ちて不便になっている。
- ・高齢者が働ける場所が多くなると良いと思います。
- ・若い人にとっても、生活しやすく、(仕事など) 魅力のあるまちづくりをしてほしい。
- ・黒崎・折尾の発展を望みます。
- ・これ以上人口が減少しない事を望みます。
- ・魅力を感じる施設が欲しい。
- ・暴力団と線路沿いの風俗街が怖いです。
- ・市民税が高いので下げて欲しい。
- ・生活道路で、ずっと工事中となっている場所があります。

◇ 問 2 4 の回答での否定層(5.7 %)の主な自由意見

- ・危険が多すぎる。事件・問題・放火が多く、安心して住めるとは思えない。
- ・商業施設に魅力がなく、公共交通も不便で、インフラ整備に時間がかかり過ぎる。
- ・子育てに対して支援があまり良くない。
- ・シニア世代の働く場所を確保して欲しい。
- ・市税が高く、学生に対する支援制度も期待できない。
- ・まちに活気が無い。若者が戻ってきたくなくなるような企業や大学が無い。
- ・企業誘致をして働く世代を増やしてほしい。

生活全般についての満足感

【全体的傾向】

肯定層 (77.1 %)	否定層 (5.7 %)
「とても満足している」 (12.0 %)	「あまり満足していない」 (4.8 %)
「ある程度満足している」 (65.1 %)	「ほとんど満足していない」 (0.9 %)

肯定層が否定層を71.4ポイント上回っている

【属性別にみた傾向】

※ サンプル数が少ない属性の回答については、コメントでは触れないこととする。

◇ 性別にみると、

肯定層	男性(78.6 %)	女性(77.1 %)
否定層	男性(6.0 %)	女性(5.6 %)

◇ 年齢別にみると、

- ・全体肯定層(77.1 %) : 30歳代(81.7 %) ⇔ 50歳代(74.9 %)
- ・全体否定層(5.7 %) : 10・20歳代(8.9 %) ⇔ 30歳代(0.9 %)

◇ 現在地居住年数別でみると、

- ・全体肯定層(77.1 %) : 10年未満(79.1 %) ⇔ 5年未満(75.0 %)
- ・全体否定層(5.7 %) : 30年未満(9.4 %) ⇔ 10年未満(4.7 %)、30年以上(4.7 %)

◇ 職業別にみると、

- ・全体肯定層(77.1 %)から5ポイント以上高い : 公務員・教員(86.8 %)
自営業(商・工・サービス業)(85.5 %)
- ・全体否定層(5.7 %)から5ポイント以上高い : 自由業(医師・弁護士など)(13.3 %)
その他(10.8 %)

◇ 居住区別にみると、

- ・全体肯定層(77.1 %)から5ポイント以上高い : 戸畑区(84.8 %)
- ・全体否定層(5.7 %) : 戸畑区(8.9 %) ⇔ 八幡東区(2.2 %)

◇ 同居家族別にみると、

- ・全体肯定層(77.1 %) : 1人暮らし(80.3 %) ⇔ その他(61.2 %)
- ・全体否定層(5.7 %) : その他(10.4 %) ⇔ 親子(2世代)(4.9 %)

【経年比較】

経年比較	平成21年度	平成24年度	平成28年度	令和元年度	令和4年度
肯定層	—	67.8%	70.8%	73.1%	77.1%
否定層	—	11.5%	9.6%	8.7%	5.7%

- ・毎年度、肯定層が増加傾向、否定層減少傾向で、否定層を大幅に上回る。

(20) 市への愛着について

① 市への愛着について

問26

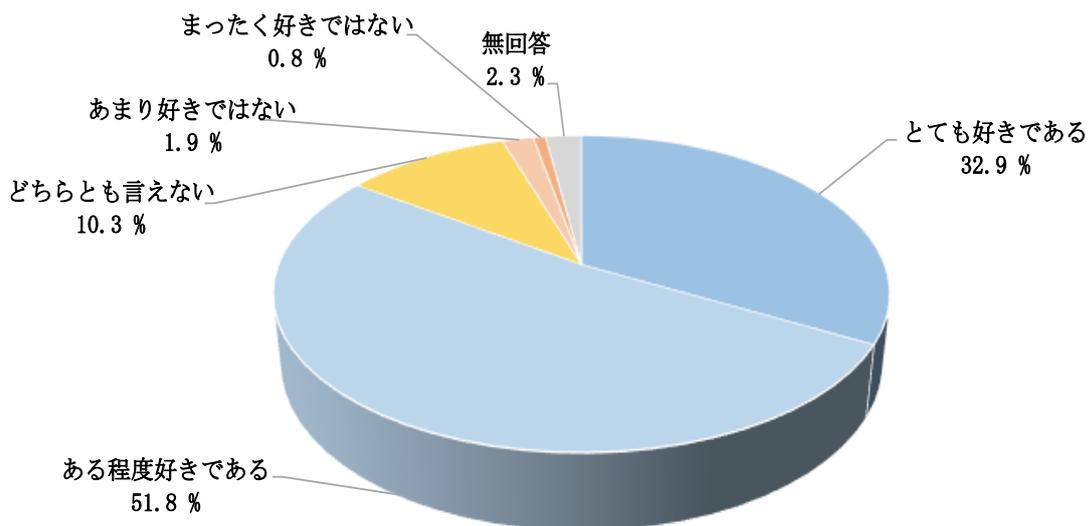
あなたは、北九州市が好きですか。

N : 1,288 人

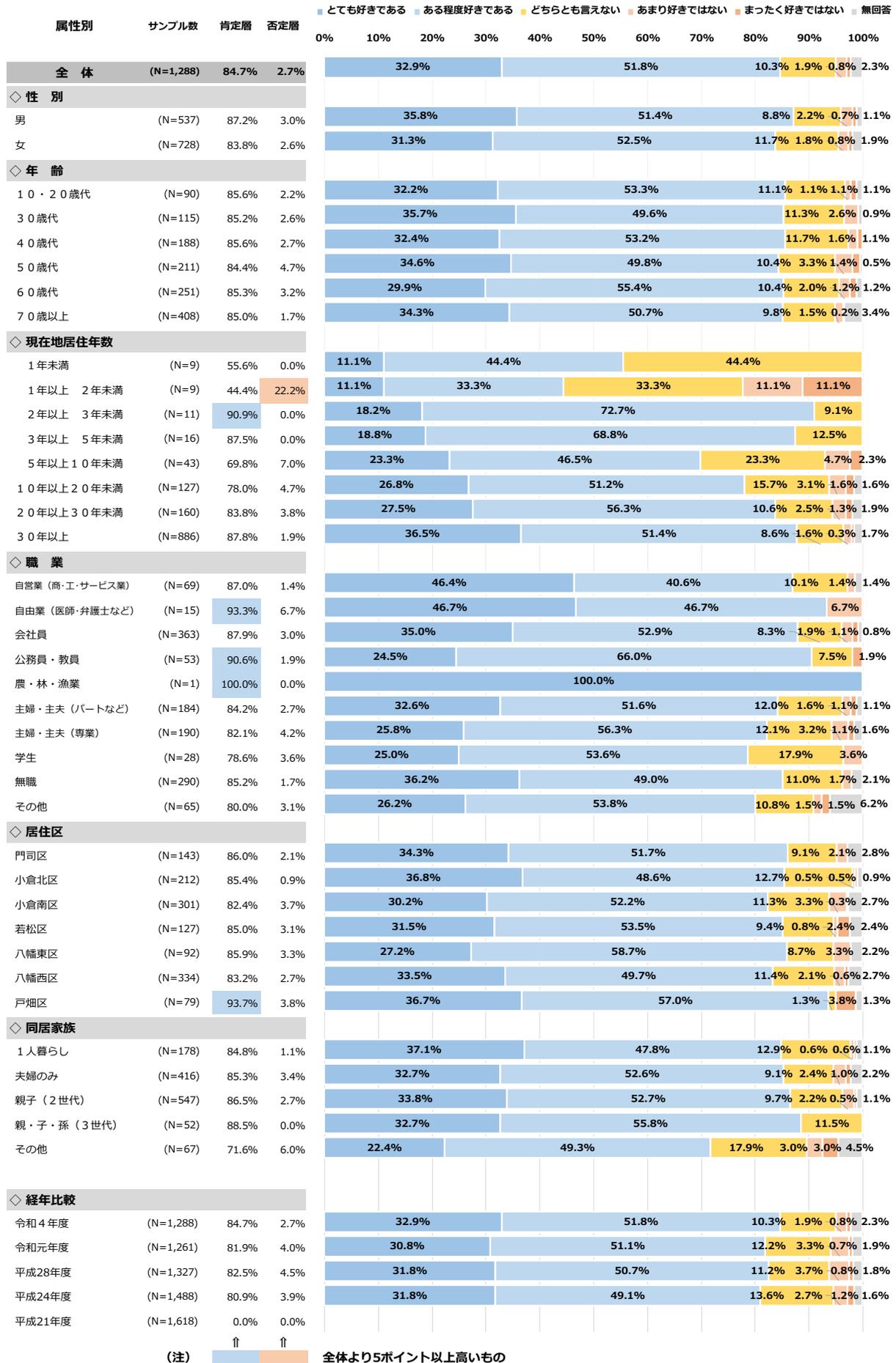
項目	回答数	割合
1 とても好きである	424	32.9 %
2 ある程度好きである	667	51.8 %
3 どちらとも言えない	133	10.3 %
4 あまり好きではない	25	1.9 %
5 まったく好きではない	10	0.8 %
無回答	29	2.3 %

◇ 市民の満足感は、

- ・ 肯定層 =====⇒ 84.7 %
 「とても好きである」 + 「ある程度好きである」 (32.9 %) + (51.8 %)
- ・ 否定層 =====⇒ 2.7 %
 「あまり好きではない」 + 「まったく好きではない」 (1.9 %) + (0.8 %)



① 市への愛着について



市への愛着について

【全体的傾向】

肯定層 (84.7 %)		否定層 (2.7 %)	
「とても好きである」 (32.9 %)		「あまり好きではない」 (1.9 %)	
「ある程度好きである」 (51.8 %)		「まったく好きではない」 (0.8 %)	

肯定層が否定層を82.0ポイント上回っている

【属性別にみた傾向】

※ サンプル数が少ない属性の回答については、コメントでは触れないこととする。

◇ 性別にみると、

肯定層	男性(87.2 %)	女性(83.8 %)
否定層	男性(3.0 %)	女性(2.6 %)

◇ 年齢別にみると、

- ・全体肯定層(84.7 %) : 10・20歳代(85.6 %)、40歳代(85.6 %) ⇔ 50歳代(84.4 %)
- ・全体否定層(2.7 %) : 50歳代(4.7 %) ⇔ 70歳以上(1.7 %)

◇ 現在地居住年数別でみると、

- ・全体肯定層(84.7 %) : 30年以上(87.8 %) ⇔ 10年未満(69.8 %)
- ・全体否定層(2.7 %) : 10年未満(7.0 %) ⇔ 5年未満(0.0 %)

◇ 職業別にみると、

- ・全体肯定層(84.7 %)から5ポイント以上高い : 自由業(医師・弁護士など)(93.3 %)
公務員・教員(90.6 %)
- ・全体否定層(2.7 %) : 自由業(医師・弁護士など)(6.7 %)
⇔ 自営業(商・工・サービス業)(1.4 %)

◇ 居住区別にみると、

- ・全体肯定層(84.7 %)から5ポイント以上高い : 戸畑区(93.7 %)
- ・全体否定層(2.7 %) : 戸畑区(3.8 %) ⇔ 小倉北区(0.9 %)

◇ 同居家族別にみると、

- ・全体肯定層(84.7 %) : 親・子・孫(3世代)(88.5 %) ⇔ その他(71.6 %)
- ・全体否定層(2.7 %) : その他(6.0 %) ⇔ 親・子・孫(3世代)(0.0 %)

【経年比較】

経年比較	平成21年度	平成24年度	平成28年度	令和元年度	令和4年度
肯定層	—	80.9%	82.5%	81.9%	84.7%
否定層	—	3.9%	4.5%	4.0%	2.7%

- ・毎年度、肯定層が多く、否定層を大幅に上回る。

② 市への愛着について自由意見

問27

(問26の回答について) ご意見がありましたらお書きください。

※ ご意見については、コメントでは触れないこととする。

◇ 問26の回答での肯定層(84.7%)の主な自由意見

- ・好きなまちだから、政令指定都市であらゆるものでNo.1を目指してほしい。
- ・住みやすく、子育てしやすいのが魅力。インフラもある程度整備されているので渋滞も少ない。
- ・高齢者への介護等がとても親切。
- ・昔のように商店街をにぎやかにできませんか？寂しいです。
- ・人口が増えることを望んでいます。
- ・北九州で生まれ育ち、今は仕事をしながら歳を重ねています。
- ・生活しやすく、災害もない都市は少ないのではないかと思っています。
- ・市の努力でいくらでも良くなる場所だと思います。
- ・都会と田舎(自然)の両面があり、美味しい食べ物がたくさんあり幸せです。
- ・暴力団等、警察や市の努力と飲食店主が協力して安心して住めるまちになりました。
- ・80年以上住んで愛着のあるまちですが他の政令市に比べこんなに衰退したまちを知りません。
- ・工業都市から文化都市へと脱却できるよう、文化の香るまちの実現を願う。
- ・生まれ故郷であるから、それなりの愛着はある。年々人口減少と高齢化で活気がない。

◇ 問26の回答での否定層(2.7%)の主な自由意見

- ・福岡市などに住んでいたなので、比較すると色々な面において、魅力が少ない。
- ・交通マナーが悪い。
- ・生まれてずっと住んでいますが、いろんな面でどこの市より遅れていると感じていました。
- ・若い人が集まるまちにして欲しい。

(21) 自由意見について

① 自由意見

問28

北九州市のまちづくりにあたり、あなたが重要だと思うこと、力を入れるべきだと思うことがありましたら、ご自由にお書きください。

※ ご意見については、コメントでは触れないこととする。

◇主な自由意見

- ・高齢者優先より、子育て世代や子供達をもっと優遇される施策を増やしてほしい。
- ・市独自の少子化対策。
- ・市主導型で働きたい意欲がある人への働く場所の提供と情報の提供。
- ・朝・夕の渋滞対策、道路・交通ネットワークの整備など。
- ・青少年の教育、起業支援、大企業の誘致に力を入れるべきと考えている。
- ・やっぱり黒崎ですね。昔の賑わいを知っている分、今の状況はさみしいです。
- ・黒崎駅周辺の地域を、工夫して、整備して欲しい。
- ・工業は元より商業・農産業・観光都市等、新しい“都市づくり”に取り組んでほしいです。
- ・車の無い人（特に高齢者の人）などの為のバスが少ない。
- ・安全安心の住み良いまちづくりに、力を注いでほしいと思います。
- ・子育てをしながら働く女性への支援（企業の取組）。
- ・子供たちが楽しく遊べる場所を多く作ってほしい。
- ・若者が集うように力を入れてほしい（大学、イベント、買い物等）。
- ・若者が魅力を感じるまちづくり、北九州で就職したいと思えるようなまち。
- ・アジアからの外国人も増え、国際的に益々豊かな市となります様切に切に祈念しています。
- ・文化的イベント（例えば音楽会等）を増やしてほしい。
- ・高齢者と若者が共に集うまちづくりが良い。

3 まとめ

以上、市政に対する評価をひとつずつ個別にみてきたが、今回のアンケート調査から、下表に示す 22 項目をまとめてみることにする。

問	略省表示	質問文の内容
問 1	子育て	安心して子育てができる
問 2	教育	子どもたちが、いきいきと学び、成長している
問 3	生涯学習	生涯学習にわたって自由に学び、成果を生かした活動を行う環境が整っている
問 4	コミュニティ	地域とのつながりの中で、安心して暮らせる
問 5	安全・安心	犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組が、以前と比べて進んでいる
問 6	高齢者	高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していける
問 7	人にやさしいまち	すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができる
問 8	生活環境	住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有する
問 9	公共施設	道路、公園、建物などの公共施設を、安心して快適に利用できる
問10	文化芸術	文化芸術に親しむ（見る、参加する）機会に恵まれている
問11	スポーツ	スポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれている
問12	市民活動	市民活動に参加しやすい環境が整っている
問13	協働	自治会や町内会や、NPO、ボランティア、企業などと行政が協働してまちづくりを進めている
問14	市民意見の反映	あなたの声が市に届き、きちんと対応されている
問15	人材・就業支援	市が取り組んでいる人材育成・就業支援は十分である
問16	魅力	市外からの来訪者に対して、自慢できるものがある
問17	小倉都心	小倉都心ににぎわいを感じる
問18	黒崎副都心	黒崎副都心ににぎわいを感じる
問19	車移動利便性	市内の車での移動は便利である
問20	公共交通機関	市内の公共交通機関での移動は便利である
問22	環境への配慮	市や市民の環境に配慮した取り組みは自慢できる
問23	自然環境	身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れたりできる

下記の散布図は、肯定層割合と否定層割合により、22項目をポジショニングしたものである。これをみると、身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れたりできる自然環境や、住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境、市内の車での移動利便性、安心して子育てができる等で、16項目において評価は高いものとなっている。

その一方で、市民活動に参加しやすい環境、人材・就業支援、小倉都心のにぎわい、自治会や町内会や、NPO、ボランティア、企業などと行政が協働したまちづくり、市民の声の市政などへの反映や、黒崎副都心のにぎわい等で、否定層が上回る。

◇ 肯定層が否定層を(20ポイント以上)上回る。(22項目中12項目)

子育て	(+46.0%)	生活環境	(+54.8%)	車移動利便性	(+44.5%)
教育	(+34.4%)	公共施設	(+41.4%)	公共交通機関	(+25.6%)
安全・安心	(+42.5%)	スポーツ	(+21.3%)	環境への配慮	(+32.4%)
高齢者	(+23.8%)	魅力	(+32.6%)	自然環境	(+61.6%)

◇ 肯定層が否定層を上回る。(22項目中4項目)

生涯学習	(+16.5%)	文化芸術	(+14.7%)
コミュニティ	(+16.0%)	人にやさしいまち	(+14.6%)

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができる人にやさしいまち。

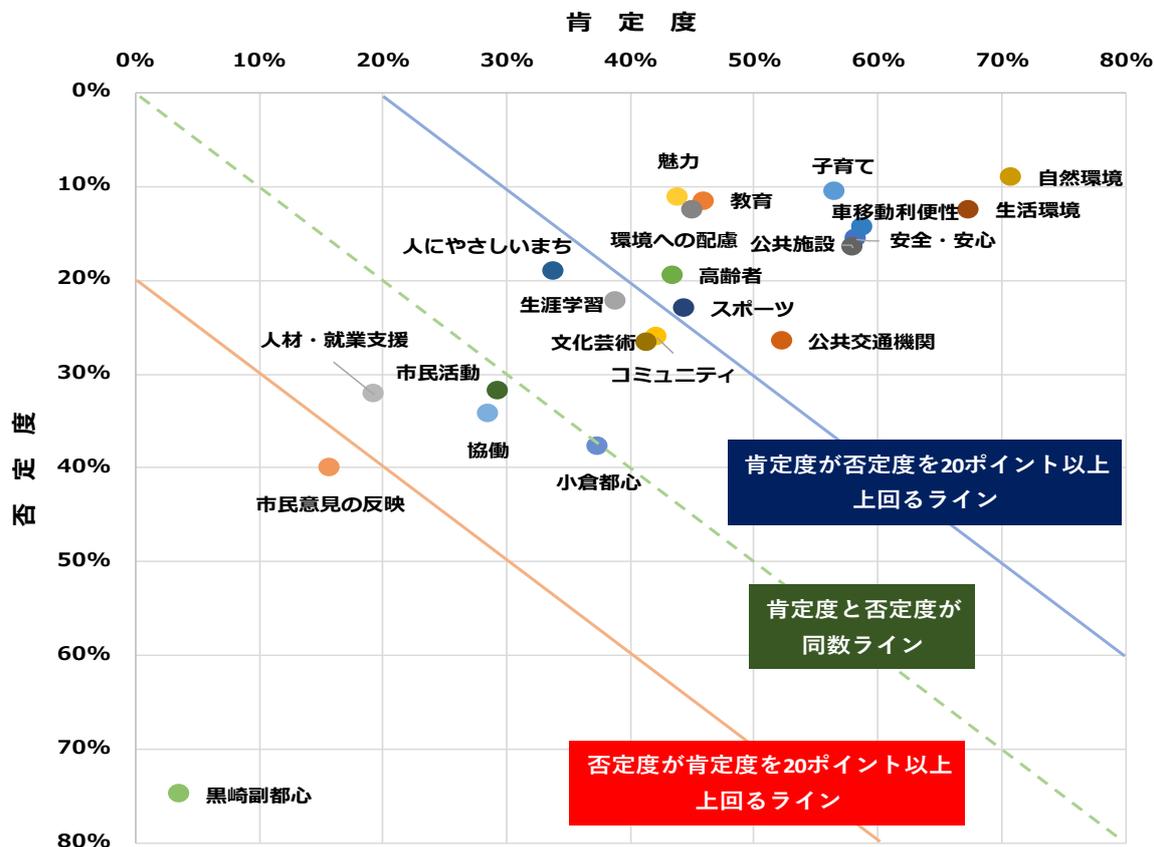
◇ 否定層が肯定層を上回る。(22項目中4項目)

市民活動	(+2.6%)	人材・就業支援	(+12.8%)
協働	(+5.8%)	小倉都心	(+0.3%)

◇ 否定層が肯定層を(20ポイント以上)上回る。(22項目中2項目)

市民意見の反映	(+24.4%)	黒崎副都心	(+71.4%)
---------	----------	-------	----------

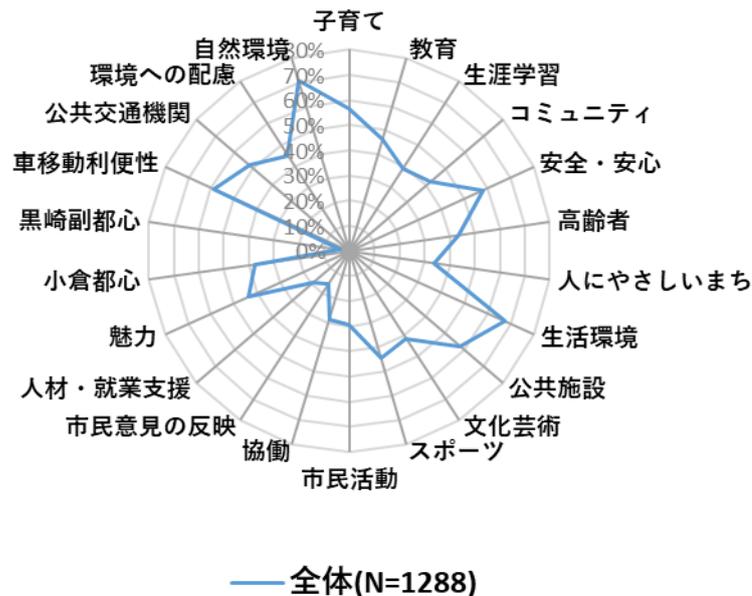
■ 肯定層と否定層のポジショニング



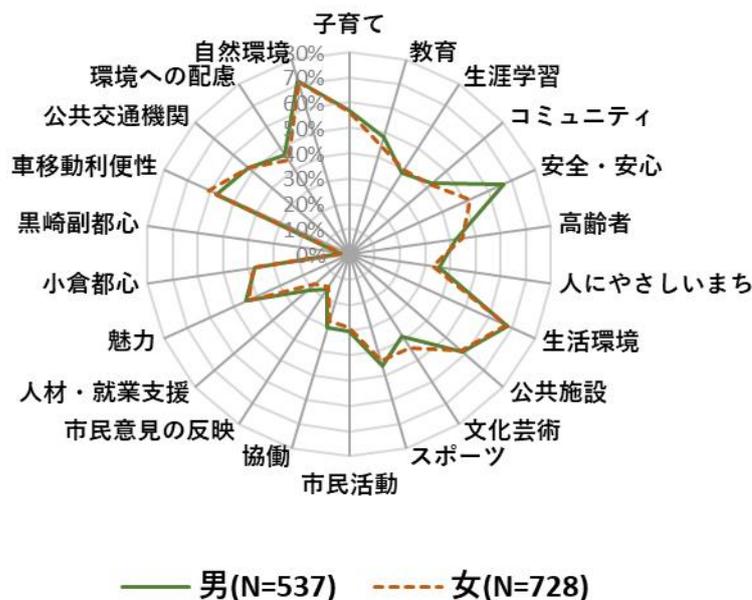
次に、肯定層の割合をレーダーチャートで示し、それぞれの属性別の特徴をみてる。

- ◇ 全体でみた肯定層の割合では、割合の多い項目に足して、大幅に少ない項目が有り、凹んだ形となっている。
- ◇ 性別で見ると、グラフ形は男女ともほぼ同じであることから、性別による差はあまり大きくないことがわかる。
- ◇ 年齢別で見ると、グラフ形は年齢が高くなるにつれて全体肯定層との差異はほぼ無くなる。
- ◇ 居住区区別で見ると、公共交通機関に対する肯定層の割合が区別で大幅に異なる。

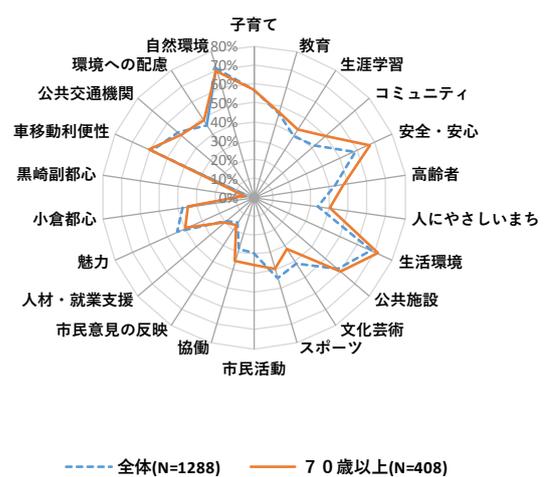
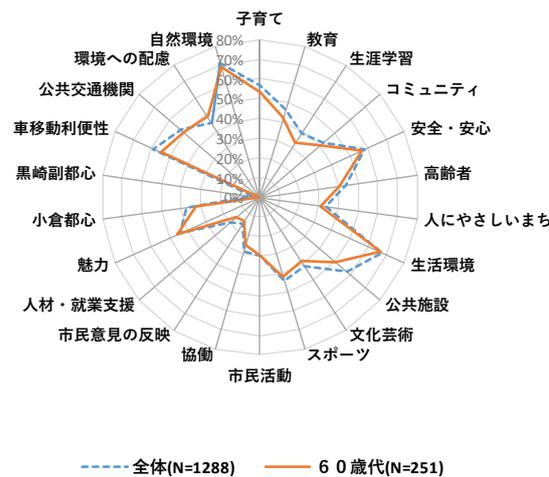
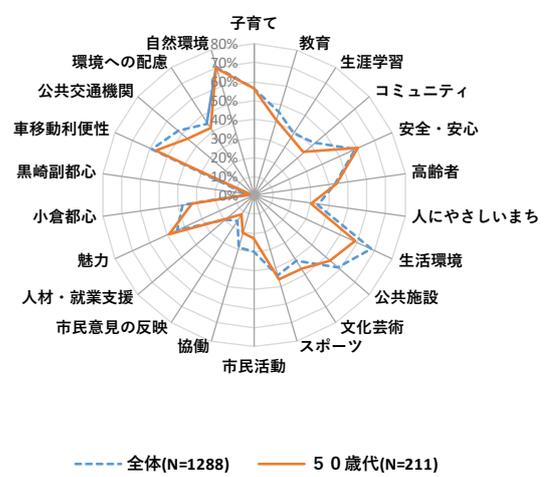
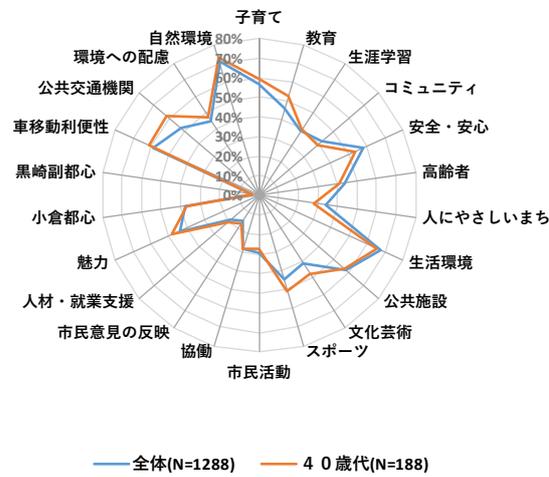
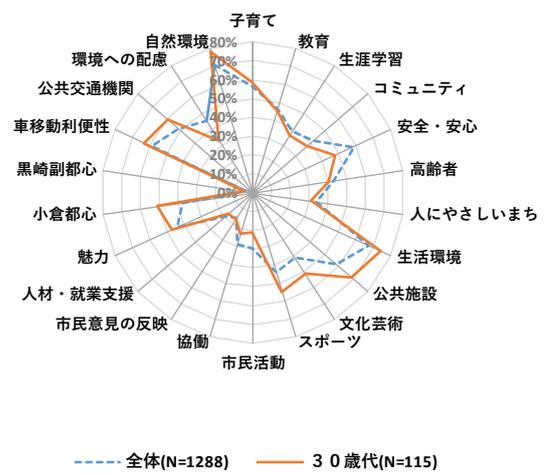
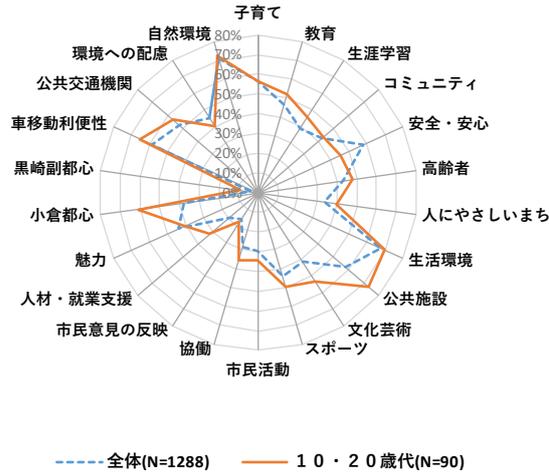
<< 全体でみた肯定層の割合 >>



<< 性別でみた肯定層の割合 >>



■ 年齢別で見た肯定層の割合



■ 居住区別で見た肯定層の割合

